

柴田町は、合併協議会から 離脱することを決定しました

柴田町・村田町・大河原町の3町合併をめぐり、4月27日に開催された柴田町臨時議会で、合併協議会からの離脱を求める陳情を議論。採決の結果、離脱に賛成10、反対7で採択されました。結果を受け、滝口町長は、合併協議会からの離脱を宣言。議会閉会后、合併協議会の正副会長会議に出席し、会長の齋大河原町長に離脱申し入れ書を提出しました。

5月8日、柴田町・村田町・大河原町合併協議会正副会長会議が大河原合同庁舎で開催され、合併協議会の今後について協議しました。

5月14日に第9回合併協議会を開催して、柴田町・村田町・大河原町合併協議会の廃止について報告を行います。その後は、5月25日に3町で臨時議会を開催、合併協議会の廃止議案が可決されれば、諸手続きを経て5月31日に廃止になる予定です。

住民説明会 「3町合併協議会からの離脱について」を開催します

地区の指定はありませんので、都合の良い日時に参加ください。

開催日	開催時間	開催会場
5月18日(月)	19:00～21:00	保健センター (4階/会議室)
5月21日(木)	13:30～15:30	西住公民館 (1階/ホール)
	19:00～21:00	船岡生涯学習センター (2階/和室1・2)
5月22日(金)	13:30～15:30	農村環境改善センター (2階/和室)
	19:00～21:00	槻木生涯学習センター (3階/会議室2)
5月23日(土)	19:00～21:00	船迫生涯学習センター (2階/会議室1・2)

「合併協議会離脱表明について」

柴田町長 滝口 茂

3町合併問題を最大の争点とした柴田町議会議員選挙が、去る3月22日に行われ、その結果、3町合併に対して反対・慎重派議員が過半数を占めたことから、多くの町民の皆さまは「3町合併に否定的な民意が選挙を通じて明らかに表明された」と受け止めております。

その後、合併反対「柴田町」を存続させる連絡会から提出された「柴田町・村田町・大河原町合併協議会からの離脱に関する陳情書」が4月27日の柴田町議会第2回臨時会で採択されました。

私は、選挙の洗礼を受けた議会が直近の町民の意志に基づいて判断した今回の議決を重く受け止めるべきだと思っています。

こうした一連の流れを踏まえ、さらに、下記に示す考え方（5つの要因をあげます）に立てば、今回の3町合併が、柴田町や柴田町民に良い結果をもたらす可能性は低いと考え、それよりは、これまでの自立戦略を進化させ、質の高いコンパクトシティを目指し、独自の「まち育て」に力を入れたほうが柴田町の持続的発展につながると判断し、合併協議会から離脱することを決意しました。

つきましては、住民発議の代表者をはじめとする町民の皆さまに、このようになった結果をお詫び申し上げますとともに、合併協議会齋会長をはじめ、これまで合併協議会の運営にご尽力をいただいた合併協議会委員各位や職員の皆さまにあらためて敬意と感謝を申し上げます。

柴田町が自立（合併協議会離脱）を決意するに至った要因

- 1 先行して合併した自治体の住民から「合併して良かった」との声が聞こえないどころか、「住民と行政との距離が広がり、住民の声が行政に反映されにくくなった」との不満の声が多いこと。
- 2 住民自治の砦である本庁舎が大河原町に置かれ、柴田町の役場が総合支所となれば、町民の不便さが増すばかりか、地元商店街へのダメージも大きく、柴田町がさびれてしまう懸念があること。
- 3 柴田町はすでに合併効果以上の行財政改革を行い、将来にわたって財政危機に陥る心配はなくなり、今後さらに、自立した発展が可能であること。
- 4 合併協議会では「はじめに合併ありき」の考えが大勢であり、その結論を急ぐあまり議論の深まりに欠け、「合併のメリット、デメリット」「合併後の住民負担や行政サービス影響」などについて十分な検証がされておらず、住民投票の際に適切な判断材料を示すまでに至らないと判断されること。
- 5 町民の間には直近の選挙で表明された民意を冷静に分析し「3町合併問題は決着した」との認識が広まっており、たとえ「民主主義維持のためのコスト」といえども、この厳しい財政状況においては「あらためて住民投票に約1,000万もの経費をかけるべきでない」との町民の声があり、3町合併への関心が冷め始めていること。